

3. 将来の基本フレーム(マクロ推計)

3-1 全体貨物量

将来の取扱貨物量について、推計基準年を令和元年、推計年次を令和30年として、成長ケース、ベースラインケースで概算の推計を行いました。

「木更津港取扱貨物量」と「千葉県製造品出荷額」との間には強い相関関係があることが確認されたため、政府による「国内総生産の成長率(成長実現ケース・ベースラインケース)見通し」等の経済指標を用いて「千葉県製造品出荷額」の将来推計を行い、この結果をもとに貨物量推計を行いました。

木更津港全体貨物量は、長期構想目標年までに成長ケースで約 8,000 万トンに増加する結果となりました。木更津港の取扱貨物は専用が約 94%を占めていることから、公共貨物のみならず、民間貨物も含め貨物量増加を目指していきます。

今後、港湾計画改訂時には、企業ヒアリングなどからミクロ推計を適宜行います。

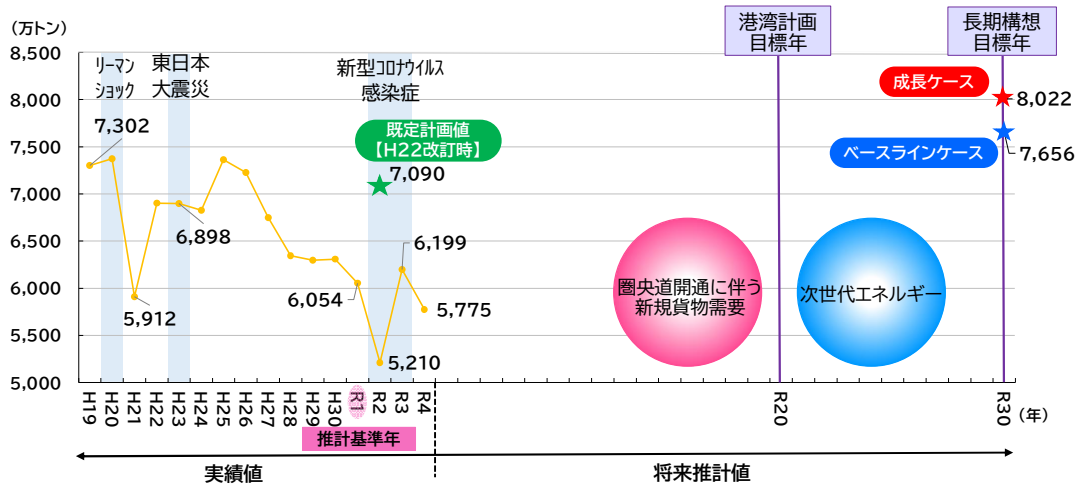


図 3-1-1 将来取扱貨物量の推計(全体貨物量)

3-2 公共貨物量

木更津港公共貨物量は、長期構想目標年までに成長ケースで約400万トンに増加する結果となりました。既存取扱貨物や圏央道開通に伴う新規貨物需要や次世代エネルギー等により貨物量増加を目指していきます。

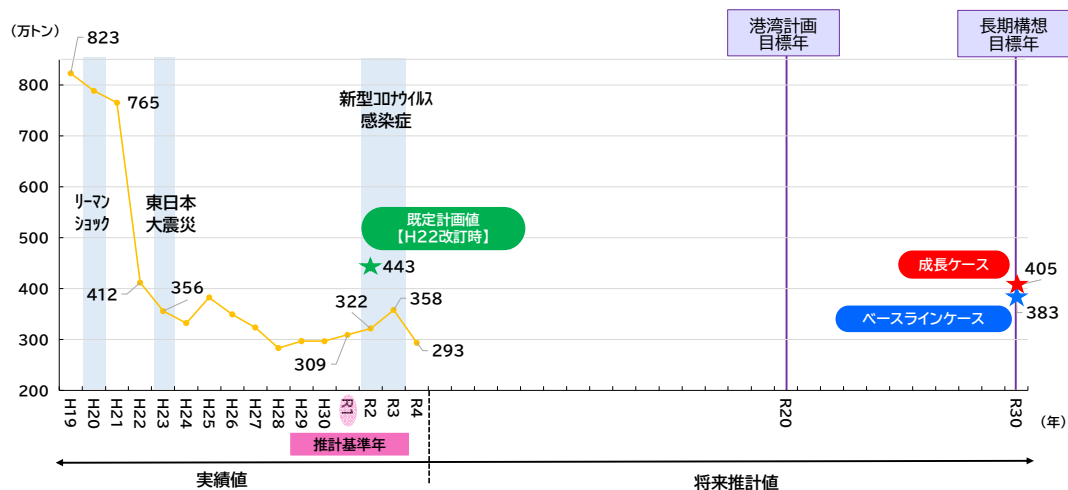


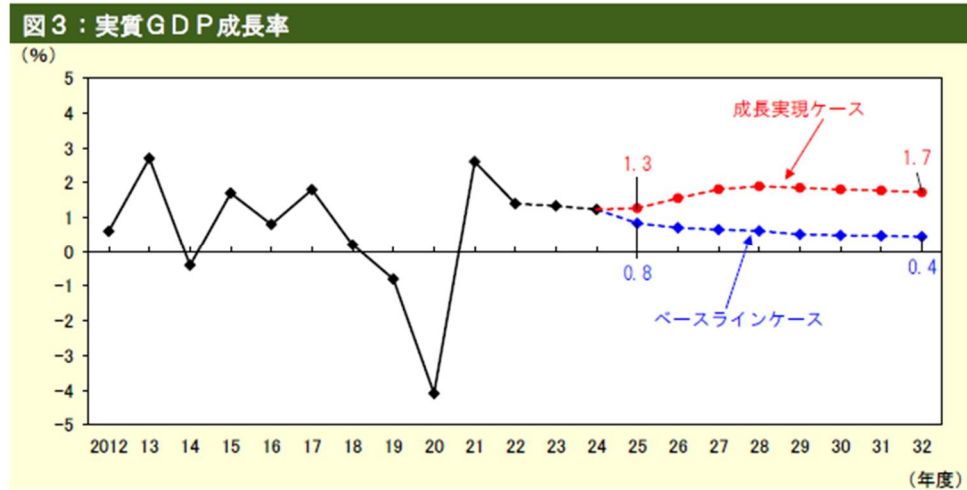
図 3-2-1 将来取扱貨物量の推計(公共貨物量)

【参考】各種経済指標の推移

貨物量推計に用いた各種経済指標を示します。

① 日本経済の見通し

【我が国における GDP の見通し(2006～2032 年度)】



出典：「中長期の経済財政に関する試算(令和 5 年 7 月 25 日経済財政諮問会議提出)」内閣府

図 3-2-2 国内における GDP 成長率の将来見通し(2006～2032 年度)

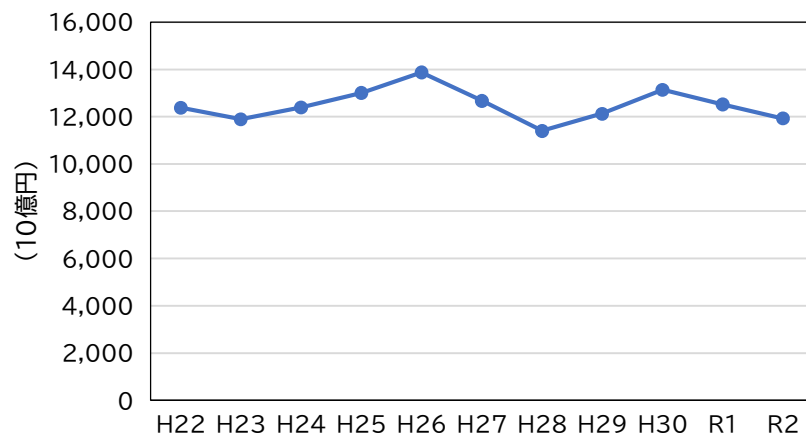
【我が国における GDP の見通し(2000～2060 年度)】

表 3-2-1 国内における GDP 成長率の将来見通し(2000～2060 年度)

Potential GDP per capita				
国名	2000-07	2007-20	2020-30	2030-60
Japan	0.5	0.7	1.0	1.1

出典：「The long game: Fiscal outlooks to 2060 underline need for structural reform」(2021.10)OECD

② 千葉県製造品出荷額の推移



出典：千葉県工業統計調査より作成

図 3-2-3 千葉県製造品出荷額の推移